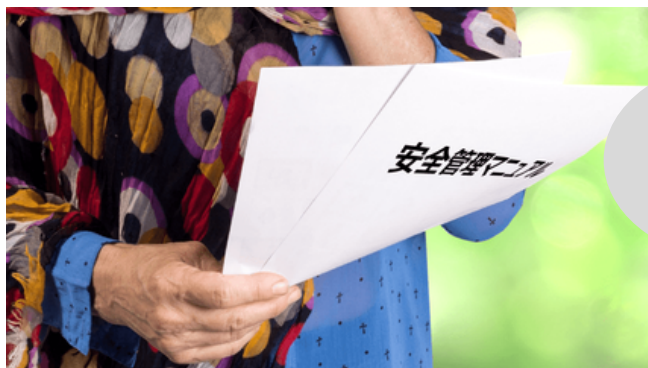


子どもの事故予防上級講座【ASM】



今使っている
マニュアル
このままで
いいのかな？

マニュアルを
整備したいけど
何から手をつけたら
いいの？

マニュアルを
足がかりに
新人スタッフの
スキルアップに
つなげたい

子どもの安全と学びについてチーム全体で取り組むために

安全管理マニュアルが存在しない、あるいは不備がある状態で、体験活動中に万一重大事故が発生してしまった場合、事業の継続が困難になることは、おそらく避けられません。

この講座では、「事故予防」と子どもの「遊び・学び・発達」を同時に促進するための「リスクマネジメントの基本手順」を土台に、責任者や担当者が一人で頑張るのではなく、職員・スタッフからなるチームの力を活用した「安全管理マニュアル」の作成プロセスを学びます。

活動現場の指導者やボランティアを束ねる立場にある主任やディレクター、あるいは事業全体の責任を負う代表者や主催者の方たちが、事故を未然に防ぐために実践で取り組むべきことならについて学んだことを認定するEラーニングによる講座です。

ASMとは



活動現場の指導者やボランティアを束ねる立場にある主任やディレクター、あるいは事業全体の責任を負う代表者や主催者の方たちが、事故を未然に防ぐために実践で取り組むべきことならについて学んだことを認定します。この資格は体験活動セイフティーリーダー（ASL）を取得している方が対象となります。

資格有効期間：3年
資格更新：Eラーニングによる再受講

講座の特徴

安全管理マニュアル作成の土台を学べる

参加者の健康調査や事前説明会運営のポイントをはじめ、プログラム実施前から実施後に至るまでの実務的な安全管理について学べます。これらは完全に独立したノウハウではなく、子どもの事故予防基礎講座で学んだリスクマネジメントの基本手順とも整合性がとれています。本講座で学んだことを各活動現場に応用することで、安全管理マニュアルを作成する足がかりになります。

スキルに差があるスタッフ間の情報共有を学べる

スタッフ一人ひとりが危険をどのように認知するかは千差万別です。これは知識や経験の差によるもので、一般的には体験活動の安全管理上、弱点となる部分でもあります。しかし、こうした視点や認知の違いは情報共有を促進することで、逆に強みに変えることもできます。子どもの事故予防上級講座では、その具体的な方法を学ぶと同時に、より安全に運営するためのスタッフ採用のポイントについても言及します。

ASLで学んだ安全管理の基本を総復習できる

子どもの事故予防上級講座は、子どもの事故予防基礎講座で学んだ内容が土台になっています。従ってより効果的に学習が進められるよう、短時間で子どもの事故予防基礎講座の知識を総復習できるように構成されています。基礎をしっかりと学びなおした上で学習を進められるので、効率よく新たな知識を得られることが期待できます。ASL認定証を取得して1年以上経っている方や、既に3年目に入ってASLが更新の時期に来ている方にもお勧めします。

パソコンやスマホを使って自分のペースで学べる

本講座は、Eラーニングで提供されています。この最大の利点は、パソコンやタブレット、スマホとインターネット環境さえあれば、任意の場所や時間帯に受講可能になることです。受講期間内に、連続ドラマを見る感覚で毎日少しずつ学ぶこともできます。一時停止や繰り返しの操作はもちろん、学習進捗や理解度なども記録しておけるため、ご自身のペースで無理なく進めることができます。受講期間中は何度でも繰り返し視聴可能なため、高い学習効果が得られます。



カリキュラム

ASLの復習	<ul style="list-style-type: none">・リスクマネジメントの基本手順・教育効果を高めるリスクの評価と対処・指導者の過失と注意義務
安全管理の実際	<ul style="list-style-type: none">・事前調査と説明会・下見とトライアル・事前の安全説明（セイフティーク）のポイント
リスク情報の共有・活用	<ul style="list-style-type: none">・事故が起こりにくいスタッフ体制・安全管理マニュアルの作成と活用・安全管理マニュアルの更新



講座概要

■受講形式
Eラーニング

■受講期間
期間…1ヵ月
(※認定試験を含む)

■受講条件
・1年以上または5回以上の体験活動指導経験を持っていること
・有効期限内のASL認定証を所持していること

■受講費
8,800円(税込)
(受講料 6,600円
+ 資格申請料 2,200円)

受講者の声

- スタッフ全員と情報を共有して全員の意見を取り入れながらマニュアルを作成したいと思いました。(30代・保育士)
- マニュアルのイメージが変わりました。(30代・保育士指導者)
- リスクの要因を気をつけながら具体的な意識ができるようになりました。(30代・NPO職員)
- 法的責任についての重要性、言葉の定義についてもわかりやすい説明でした。(40代・会社代表)
- リスクに対しての評価もいろいろあることがわかりました。(40代・NPO職員)

受講の申し込みについて

安全管理は一人では行えません。責任者を中心に職員・スタッフ全員が情報を共有するための「安全管理マニュアル」の作成はとても大事なことです。多くの意思決定や日常業務に忙しい立場にある受講者が、隙間時間を使って無理なくこれらの知識を得られるよう、全ての内容をEラーニングから学ぶことができます。お申し込みについては、右のQPコードから、Eラーニングに関する詳細ページをご確認のうえ、フォームよりお申し込みください。



Eラーニング詳細ページへ

実績

東京都・千葉県 保育士等キャリアアップ研修、広島県 自然保育認証団体 保育士等安全研修、長崎県大村市 子ども安全管理士講座、東京都大田区 地域力推進課、八王子市私立幼稚園協会、千代田区 教育委員会事務局子ども部、埼玉県児童福祉研究会、蓮田市 保育士会、明星大学、関東短期大学、森のようちえん全国交流ネットワーク

講座概要・資格認定・研修モデル・講師派遣など、詳細はこちらまで・・・

体験活動リーダースアカデミー事務局
(運営：プラムネット株式会社 子ども安全共育事業部)

〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区沢渡 1-2 Jプロ高島台サウスビル4F
TEL : 045-312-6052 FAX : 045-312-6077
HP : <https://www.fieday.net>

HPはこちらから！



体験活動リーダース アカデミー powered by FIEDAY.net
ACTIVITY LEADERS ACADEMY